

**公益財団法人まちみらい千代田
第2期 第2回 評議員会 議事録**

1 日 時

平成26年12月 4日（木） 午後3時から午後5時まで

2 場 所

ちよだプラットフォームスクウェア 4階401会議室

3 評議員現在数

11名

4 出席者

(1) 評議員出席者（9名）

野本俊輔、鎌倉勤、熊谷エイ、澤崎宏、瀬川昌輝、
谷真理子、高橋陽子、山口修一、米倉伸三

（欠席者（2名）鈴木潔、志摩雅子）

(2) 事務局

理事長：山崎芳明、事務局次長：谷田部継司

各グループ・マネージャー：加藤英明、風間栄一、本郷友孝

担当：赤石、堀江

5 議 題

(1) 公益財団法人まちみらい千代田 第2期 事業実施状況 中間報告 について

(2) マンションコミュニティ施策に関する調査 中間報告 について

6 開会、挨拶、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、事務局が配布資料の確認を行った。定款第25条により評議員会の議長を務める野本会長が開会を宣言し、山崎理事長に挨拶を求めた。

出席者について事務局から報告し、定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを確認し、本評議員会が有効に成立している旨を告げた。次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第30条第2項の規定により、本日出席の米倉評議員と山口評議員の2名を提案したところ、満場一致の賛成があり、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議事に入った。

7 議事の経過及び結果

議長から議事に入る前に、「(1) 公益財団法人まちみらい千代田第2期事業実施状況中間報告について」と「(2) マンションコミュニティ施策に関する調査中間報告について」は関連があるため一括で報告し、その後に質疑応答としたい旨、提案したところ、全員異議なく了承した。

(議題1) 公益財団法人まちみらい千代田 第2期 事業実施状況 中間報告について
(議題2) マンションコミュニティ施策に関する調査 中間報告 について

配付資料(添付「第2期事業実施状況中間報告」)に基づき、各グループ・マネージャーが事業の進捗状況についての説明を行った。

「住宅まちづくり」

風間〈住宅まちづくりグループ〉マネージャーが、配付資料に基づいて、事業の中間報告を行った。

「産業まちづくり」

本郷〈産業まちづくりグループ〉マネージャーが、配付資料に基づいて、事業の中間報告を行った。

「協働まちづくり」

加藤〈企画総務グループ〉マネージャーが、配付資料に基づいて、事業の中間報告を行った。

その後、赤石〈住宅まちづくりグループ〉担当が、配付資料「マンションコミュニティ施策に関する調査中間報告資料」に基づいて、調査の中間報告を行った。

質疑・意見等

公益財団法人まちみらい千代田の広報・情報発信について

[評議員]

(1) 二つのホームページ（「まちみらい千代田ホームページ」と「千代田デイズ」）があり、必要な情報が見つげにくい。それぞれの位置付けを明確にし、一本化したらどうか。

(2) 新たにマンション等に転入した住民は、若い夫婦が多い。またライフスタイルの変化もあり、スマートフォン等「マルチデバイス」を駆使して情報を得ることが当たり前の時代となった。サーチエンジン対策やレスポンシブWEBデザイン等を取り入れたホームページづくりをして欲しい。

[評議員]

広報・PRをわかりやすくして欲しい。事業内容を整理・体系化し、効率良く情報発信すれば、事業効果は上がる（参加率アップ等）。またどれだけコストをかけてどれだけ成果が上がったかについて、事業報告して欲しい。

[まちみらい千代田]

「まちみらい千代田ホームページ」は、公益財団法人としての公式ホームページ、「千代田デイズ」は地域のまちづくりを総合的に支援するポータルサイトという位置付けになっている。今後、一本化を検討したい。また利用者が必要な情報にアクセスしやすく、活用がしやすい、わかりやすいホームページに改善していく。

マンション・コミュニティについて

[評議員]

やる気のない人にコミュニティ構築を誘導していくことは難しい。アンケートに回答してくれた方々は、すでに主体的にコミュニケーションをとっている人たちである。個人情報・プライバシーの問題もあるが、調査には住民登録の有無や家族構成等も重要な要素である。また分譲マンションだけでなく、賃貸マンションに目を向ける必要がある。

[評議員]

町会エリア内に10数棟あるマンションには、数多くの母子の姿を見かける。しかし個人情報・プライバシーの問題があり、実際、どこに住んでいるのか特定することが出来ない。そこで「祭り」をきっかけにして、地域に参加してもらおうと考えている。

[評議員]

日本テレビ通り振興会 が主催する「納涼盆踊り大会」が年々、子どもの参加が増加している。「祭り」を通して、地域と住民のつながりが生まれている。

[評議員]

- (1) 「マンションコミュニティ施策に関する調査」中間報告資料13ページの図のもとになったアンケートの調査サンプル数は？
- (2) 調査やアンケートなど、後追いの取り組みでなく、目的を持って能動的に取り組んで欲しい。例えば、「避難所防災訓練」で参加住民の居住形態を確認出来るのではないかな。

[まちみらい千代田]

- (1) 平成25年度千代田区実施の「区民アンケート」で、調査対象（満20歳以上の区民2,000件）のうち回答のあった608件（全体の30.4%）である。
- (2) 個人情報の問題があるので、来期に向けて、千代田区「避難所運営協議会」と課題を整理、クリアしていくようにしたい。

[評議員]

- (1) 「マンションコミュニティ施策」には、ぜひ、「高齢者対策」や「空き家対策」の視点を入れて欲しい。
(参考) 東京大学高齢社会総合研究機構の柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会
- (2) 「マンションコミュニティ施策に関する調査」19ページ「千代田区マンションコミュニティに関わる事例」にある「〈事例1-1-2 マンションB〉マンションに入居する学生の地域活動への参加」のような成功事例がある。良いアイデアが生まれるような調査報告書に期待する。

[評議員]

「マンション・カフェ」と「マンション居住者の意向調査」の違いは？2つに分ける意味があるのか？

[まちみらい千代田]

「マンション・カフェ」は、千代田区が、まちみらい千代田や千代田区社会福祉協議会などと連携して、テーマを決めずにマンションの困りごと等を気軽に相談したり、他のマンションにお住まいの方と交流できる場としてスタートした。

一方、「マンション居住者の意向調査」は、「マンションコミュニティ施策に関する調査」の一環として、インタビュー（座談会）形式でより深く意向を調査するものである。

[評議員]

説明会やイベント等に出席・参加出来る人たちよりも、出来ない人たちの方が問題を抱えている。出席・参加がしやすいように、柔軟にアレンジして開催して、欲しい。また、地域とのかかわり意識や活動参加度をアップさせるような仕掛けを考えて欲しい。

[評議員]

「シティ・プライド」や「タウン・ブランディング」といった区民が地域に対して持つ誇りや愛着を醸成していくことが、コミュニティへの参加率を向上させる。

[評議員]

「マンション管理会社連絡会」は、ぜひ充実させて欲しい。マンションの実態や居住者情報を把握している管理会社への情報提供がマンションの管理内容を良くする。

[評議員]

区内で展開する管理会社約100社のうち大手がこぞって、「マンション管理会社連絡会」参加するように継続して取り組んで欲しい。

[まちみらい千代田]

より多くの管理会社が参加するよう工夫していく。

[評議員]

管理組合の運営方法についても、アドバイザーを派遣してもらえるのか？夜間でも大丈夫か？

[まちみらい千代田]

管理組合の運営方法も含めマンションに関する様々な課題の解決に、まちみらい千代田に登録しているアドバイザーを派遣している。夜間でも可能である。

8 事務連絡

次回の評議員会は平成27年5月頃、第3期事業計画（案）と予算（案）を議題に開催予定である。

9 閉会

以上をもってすべての審議を終了したので、午後5時に閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長及び評議員がこれに署名、押印する。

平成26年12月4日

公益財団法人まちみらい千代田
第2期第2回 評議員会

議 長 野 本 俊 輔 (印)

議事録署名人 米 倉 伸 三 (印)

議事録署名人 山 口 修 一 (印)